

2. 議事

(1) 金剛地区再生指針推進の取組について (平成30年度)

1

金剛地区再生指針推進の取組について(平成30年度)

金剛バル☆WinterLand2018 & 金剛きらめきイルミネーション



当日の金剛中央公園の様子

金剛バル☆WinterLand2018

バルやステージイベントなど

<主催>

金剛にぎわい創出実行委員会
(地域の事業者が中心)

<日時>

2018/11/25(日) 15:00~20:00

<会場>

金剛中央公園

<来場者数>

約3800人

金剛きらめきイルミネーション

金剛駅前ふれあい大通りにて、金剛バル開催日から1/20まで点灯。

※市が運営。

金剛地区まちづくり会議の関わり

(1) 金剛バルの前日準備 & 当日運営のお手伝い

- ・金剛バル前日の会場の掃除やテントの設営などをお手伝い
- ・当日の運営スタッフとして参加。

(2) ふれあい大通りの掃除

イルミネーション終了後の2/1には、ふれあい大通りを清掃。
(まちづくり会議からは6名参加)



金剛きらめきイルミネーション
(ふれあい大通り)



ふれあい大通りの清掃

2

金剛地区再生指針推進の取組について(平成30年度)

親子ふれあい祭り



当日の金剛銀座商店街の様子

移動ミニ動物園や縁日ブースやゲーム、パズル、ペットボトルツリーなど
 <主催>
 金剛銀座街商店会
 <日時>
 2018/11/25(日)12:00~17:00
 ※金剛バルと同日
 <会場>
 金剛銀座商店街
 <来場者数>
 約1200人



ポップコーンの販売



ペットボトルツリーの設置

金剛地区まちづくり会議の関わり

(1)ペットボトルツリーの設置

主体:金剛地区まちづくり会議

場所:金剛銀座商店街

協力:商店主であり会議メンバーである方が、金剛・金剛東地区の17の幼稚園・保育園等に声掛けし、金剛バルのペットボトルツリー作成依頼とあわせてペットボトルツリー作成の協力を依頼。

設置作業:まちづくりメンバーを中心に約10名で行う

(2)ポップコーンを販売

まちづくりメンバー約5名が参加。

→16時には売り切れるほど盛況!

支出	・出店料:1000円 ・電気使用料:500円 ・仕入れ:9048円 (ポップコーン・ジュース・雑費) 10548円
収入	25500円
差し引き = 15002円	

初期経費は、繰越金(H28,H29)で対応。

金剛地区再生指針推進の取組について(平成30年度)

軽トラマルシェ



富田林の生産者による野菜販売や雑貨等の販売などを行う

<主催>

金剛地区まちづくり会議

<日時>

毎月第4土曜日の午後

<会場>

金剛銀座商店街

<来場者数>

毎回100人前後

<催し>

・野菜販売以外にも出店あり。

・1月は、難波ネギフェスタ

との同時開催でスープの試食。

<アンケート調査結果>

実施日:H30.12.22(土)、H31.1.26(土) 回答数:77人(12月=56人、1月=21人)

集計結果(抜粋)

- ・来場者 ; 7割以上が金剛地区の住民。毎回3割以上の方が、はじめて来場されている。
- ・開催頻度等;多くの人が「妥当」と回答。一部「頻度が少ない、時間が遅い」との声あり。
- ・野菜価格帯;ほぼ全員が「安い、やや安い、妥当」と回答し、満足されている。
- ・その他 ; もっと色々な野菜や出店(特に食べ物系)が欲しいという声も多かった。

金剛地区再生指針推進の取組について(平成30年度)

軽トラマルシェ

金剛地区まちづくり会議の関わり

(1)企画運営について
イベント部会の取組として、企画運営。

- ・出店者は、会議メンバーの中心人物が、声かけし募集を行う。
- ・青空カフェは、居場所づくり部会と連携し実施している。

(2)予算等

- ①銀座商店街のトイレ借用料: 毎回300円程度(市委託金から支出)。
- ②広告宣伝費(チラシ作成・印刷費): 事務局でチラシ作成。印刷費は約6000円(市委託金から支出)。
- ③まちづくり会議での出店(ヨーヨー釣り、人形すくい、ジュース販売)にかかった経費(市委託金から支出)

支出	ヨーヨー・人形17023円 + ジュース3425円 = 20448円	差し引き △2548円
収入(売上)	17900円	

- ④会場使用料は、金剛銀座商店会を通じ、UR都市機構から無償で借用。
- ⑤現在、出店料は徴収していない(銀座商店街の備品を借用するなど必要最小限の経費で運営)。
※今後、保険代・宣伝広告費等の経費捻出のため、運営サイドとして収入を確保する必要あり。

(3)広報

- ①チラシ: 各町会(自治会)等を通じた回覧、有志によるポスティング、施設への掲示等
- ②Facebookでの発信
- ③コミュニティ紙への掲載

(4)野菜販売時間

夏季;16:00~18:00 冬季;15:00~16:00 (短時間で集中的に販売)

(5)他出店状況

- ・青空カフェ、パン、ポン菓子、綿菓子、雑貨、ゲームコーナー(ダーツ、キックターゲット)、ワークショップ等
- ※夏季には、子供向けに「ヨーヨー釣り」「人形すくい」等を実施。
- ・集客は、野菜頼みの状況。野菜以外の魅力が少ない。

5

金剛地区再生指針推進の取組について(平成30年度)

寺池台小学校区防災訓練の実施



金剛地区まちづくり会議の関わり

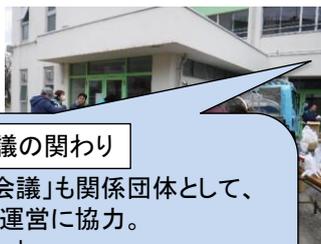
金剛地区まちづくり会議も関係団体として、
中心的に運営に協力。

↓
<防災活動部会の活動テーマ>

「防災にかかるゆるやかなつながりづくり」
→寺池台小学校区をフィールドに実践



炊き出し訓練



防災グッズの展示等

地域団体・住民が主体となり企画・運営する訓練を目指し開催。

<主催>

校区の町会(自治会)、各種団体による「実施連絡会」

<日時>

平成31年2月23日(土) 9:00~12:00

<場所>

寺池台小学校

<参加者>

約170人

<予算等>

講演会、炊き出し、保険、消耗品、チラシ等

→市の補助金を活用(上限10万円)

※校区単位の防災訓練実施に補助。

開催をきっかけに、各種団体や地域のリーダー間で、防災にかかる横のつながりが生まれることを期待。

自主防災会の設立

指針に掲げる目標=「地区内の全ての町会(自治会)における自主防災組織の設立」を推進
→指針策定以降、「寺池台三丁目」「久野喜台二丁目」で、新たに自主防災組織が設立される。
※地区内の17団体の内、7団体で設立(H30年10月現在)。

6

金剛地区再生指針推進の取組について(平成30年度)

金剛地区まちづくり会議による情報発信

にぎわい金剛の発行



金剛地区まちづくり会議の活動テーマである情報発信の一環として「にぎわい金剛」を金剛地区まちづくり会議が発行。

- (1) 予算等
 - ・印刷製本費：市委託金から支出
 - ※年2回発行
 - 印刷製本費(1回分) = 17,100円/4,000部
- (2) 編集等
 - ・各発行の際に、1～2回程度の編集会議を開催。
 - ※参加者は1,2名。
 - ・原稿は、できる限り参加者に書いていただけるよう、事務局から個別に依頼。
 - ※ただし、紙面の半分以上は、事務局で原稿作成。
 - ※第3号より、メンバーによるコラムも掲載。
 - ・編集は、主に事務局が担う(イラストレーター使用)。

まちづくりでは、情報発信が重要であり、住民等が主体で取り組む体制作りが必要であるが、まだ十分ではない。

第3号から、まちづくり会議メンバーのコラムを掲載。

金剛地区再生指針推進の取組について(平成30年度)

金剛地区まちづくり会議による情報発信

SNSでの発信



金剛地区まちづくり会議のFacebookアカウントを開設し、情報発信中。

- (1) 更新
 - 現在更新しているのは、事務局、及びまちづくり会議メンバー1～2名。
- (2) 発信内容
 - ・イベント告知や実施報告等を随時発信。
 - 軽トラマルシェの記事は、定期的に発信。
 - ・現在(3/19現在)のフォロワー数は239人

※一定の広報力あり
アンケートでは、マルシェ来場者の約1割の人が、Facebookがきっかけで来場と回答。

金剛地区再生指針推進の取組について(平成30年度)

Kotonaの活用

平成30年4月から、NPO法人ふらっとスペース金剛が、UR団地の空き店舗を活用し、家庭的保育Kotonaを開設。

ENGAWA(えんがわ)事業



Kotonaの園庭開放。

→幼児や親子連れにこだわらず、様々な立場、世代の人が、集い、交流できる場をめざす。

<主催>

Kotona
(保育所運営の一環として実施)

<日時>

毎週土曜日 9:30~11:00

9

金剛地区再生指針推進の取組について(平成30年度)

Kotonaの活用

平成30年4月から、NPO法人ふらっとスペース金剛が、UR団地の空き店舗を活用し、家庭的保育Kotonaを開設。

もちより晩ご飯会



一人一品ご飯を持ち寄り、食事を通じた交流の場。

<主催>

Kotona(NPO法人ふらっとスペース金剛)

<協力>

金剛地区まちづくり会議

<日時>

毎月第4土曜日の17:00~(軽トラマルシェ終了後)

<参加者>

毎回10名前後

金剛地区まちづくり会議の関わり

(1) 予算等

- ・会場は、Kotonaの土間スペースを活用(無料)。
- ・食事等は、全て持ち寄りのため経費不要。

(2) 広報

- ・チラシ(有志で作成)をまちづくり会議で配布。
- ・SNS(Facebook)による情報発信
- ・金剛コミュニティへの記事掲載依頼。
- ・他、口コミ等

毎回、年齢、居住地等にかかわらず、10名前後の人が情報交換・交流をしている。
→毎回1~2人程度、初参加の人がおられる。

10

金剛地区再生指針推進の取組について(平成30年度)

金剛地区のまちの話題

そば打ち体験会(打ちたてのそばを食す会)



簡単な体験とともに、打ち立てのそばを食べながら気軽に交流できる場を目指す。

- <主催>
まちづくり会議参加者有志
- <会場>
ロペを活用(2月より)
- <予算等>
・参加費500円程度(そばの試食、コーヒー、お菓子等)

今後、収支も含め、継続的な開催ができる仕組みづくりが必要に。

高辺プラザでのカフェ



H29にまちづくり会議で開催した、ふれあいカフェをきっかけにスタート。

- <主催>
まちづくり会議参加者有志(高辺台小校区福祉委員会としても実施)
- <会場>
高辺プラザ
- <予算等>
・コーヒー1杯100円の参加費徴収
・会場費:市老人憩いの家を使用するため不要
- <参加者>
毎回10名前後が参加。

11

金剛地区再生指針推進の取組について(平成30年度)

金剛地区のまちの話題

Café&Lunch ロペ



元々地域の方の居場所であったカフェが、現在空き店舗に。その空き店舗をオーナーが地域の方に貸しスペースとして開放。

- <主催>
ロペのオーナー、地域のコーディネーター役1名
- <使用料>
レンタル料;500円/1h

詳細については、資料3-2。

12

金剛地区再生指針推進の取組について(平成30年度)

金剛地区のまちの話題

どんど



どんどや鷹匠による実演、鷹とのふれあいイベントを開催。

数十年以上続く、同自治会の伝統行事。

＜主催＞

UR金剛団地自治会

＜会場＞

金剛中央公園

＜日時＞

1/13(日)午前

生協の移動販売



金剛団地内を巡回。(4箇所停留)

＜主催＞

UR金剛団地自治会、UR都市機構、大阪いずみ生協の連携により運行

＜日時＞

毎週木曜日

＜予算等＞

大阪いずみ生協の独立採算

原則、生協の会員のみが利用できる。

※上記の連携により、別途調整。

13

金剛地区再生指針推進の取組について(平成30年度)

まちづくりサポーター育成講座

新たに金剛地区でまちづくりを進める人材の発掘・育成のため、まちづくりサポーター育成講座を市まちづくり推進課が開催。(全4回)

(第1回:若者を地域活動に巻き込むためには)



日時:9/8(土) 参加者:16人



(第2回:防災力の高い金剛地区を目指して～広める深める地域のつながり～)



日時:10/28(日) 参加者:18人



14

金剛地区再生指針推進の取組について(平成30年度)

まちづくりサポーター育成講座

(第3回:自然遊びを通じて寺池公園の活用方法を考えよう)

日時:12/8(土) 参加者:11人



(第4回:まちの広報マン養成講座)

日時:1/26(土) 参加者:7人

